

## 第 II 部 標目

第 21 章	標目総則 (p. 313-317)
第 22 章	タイトル標目 (p. 319-321)
第 23 章	著者標目 (p. 323-333)
第 24 章	件名標目 (p. 335-337)
第 25 章	分類標目 (p. 339-341)
第 26 章	統一タイトル (p. 343-345)
標目付則 1	片かな表記法 (p. 346-352)
標目付則 2	単一記入制目録のための標目選定表 (p. 353-355)

### 「標目」の機能

- ・ 標目は、目録を検索する際の手がかりとなるものである。（辞書の「見出し」にあたる）
- ・ 日本目録規則では、タイトルや著者の標目は原則として読みの「片かな」で表すこととなっている。
- ・ 日本目録規則 2018 年版では「アクセス・ポイント」という用語を用いるが、ここでは使用しないので注意。
- ・ 標目には、「タイトル」「著者」「件名」「分類」の 4 種類がある。
- ・ 目録作成者は、「利用者が検索しやすい標目」は何かを想定し、そのために必要な標目を付与することになる。したがって、具体的にどのような標目を付与するかは、目録作成者によって判断が揺れる。

## 「標目」のポイント

21. 標目総則		
21.0.2	p.314	標目の種類
21.0.3	p.314	標目のよりどころ
21.3.0	p.315	標目の表し方（和資料は片かな）
21.4.2	p.315	標目指示の順序
21.6.0	p.316	「を見よ参照」と「をも見よ参照」
22. タイトル標目		
22.1.0	p.320	標目の選択
22.1.0.1	p.320	標目とするタイトル
22.1.0.2	p.320	必要に応じて標目とするタイトル
22.2.0	p.320	標目の形
22.3.0	p.320	標目の表し方
23. 著者標目		
23.1.0	p.324	標目の選択
23.1.0.1	p.324	標目とする著者
23.1.0.2	p.324	必要に応じて標目とする著者
23.1.0.3	p.324	標目とする出版者
23.2.0	p.324	標目の形
23.2.1.0	p.324	人名
23.2.1.2	p.325	2以上の名称を用いる著者
23.2.1.3	p.325	付記事項
23.2.1.4A	p.325	姓名の形を持つ人名
23.2.1.4B	p.326	姓または名のみ的人名
23.2.1.4C	p.326	姓と名から構成されていない人名
23.2.1.4D	p.326	外国人名
23.2.2	p.327	団体名
23.3	p.331	標目の表し方
23.3.3	p.331	人名
23.3.3.0	p.331	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 姓名の形をもつ人名は、姓と名の間をコンマ、スペースで区切る。 手塚治虫 テヅカ, オサム ピアトリクス・ポター ポター, ピアトリクス</li> <li>・ 姓と名から構成されていない人名は、全体を一語で表記する。 清少納言 セイ ショウナゴン</li> </ul>
23.3.3.1	p.331	日本人名
23.3.3.2	p.331	東洋人名
23.3.3.3	p.332	西洋人名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西洋人名で、名がイニシアル形のときは、そのままローマ字で表記する。 R. L. マルチノ マルチノ, R. L.</li> <li>・ 西洋人名で、前置語を伴う姓、複合姓、2語以上からなる姓の各語間には、中点「・」を入れる。 ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ ラ・フォンテーヌ, ジャン ド</li> </ul>
23.3.4	p.332	団体名

標目付則 1. 片かな表記法		
1.1	p.346	和語、漢語 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代仮名遣いとは異なる部分がある。</li> <li>・助詞「ハ」「ヘ」「ヲ」は「ワ」「エ」「オ」と表記する。          こんにちは コンニチワ</li> <li>・「ヂ」「ヅ」は「ジ」「ズ」と表記する。          ちかぢか チカジカ</li> </ul>
1.2	p.347	外来語 <ul style="list-style-type: none"> <li>・表にない文字の扱いに特殊な規則がある。</li> </ul>
1.3	p.348	アルファベット <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットは、発音に従って片かなで表記する。          CMのすべて シーエム ノ スベテ</li> <li>・CiNii Books では別法を適用するので、違いに注意すること。</li> </ul>
1.4	p.349	数字 <ul style="list-style-type: none"> <li>・数字は、不自然でない限り次のように表記する。          「イチ、ニ、サン、シ、ゴ、ロク、シチ、ハチ、ク、ジュウ」</li> <li>・成語または固有名詞の一部に含まれている場合は、一般的な読みに従う。          四次元 ヨジゲン</li> <li>・「シリーズ」の巻号に数字やアルファベットが使われている場合は、数字はアラビア数字で、アルファベットはローマ字で表記してよい。          「中公新書 ; 136」 チュウコウ シンシヨ 136</li> <li>・CiNii Books では別法を適用するので、違いに注意すること。</li> </ul>

「発想法：創造性開発のために / 川喜田二郎著」に関連する標目データの例

書誌

タイトルと責任表示	発想法：創造性開発のために / 川喜田二郎著
シリーズ	中公新書 ; 136

標目

タイトル標目	ハッソウホウ
タイトル標目	ソウゾウセイ カイハツ ノ タメ ニ
タイトル標目	チュウコウ シンシヨ 136
著者標目	カワキタ, ジロウ